

事業目的

知の交流と共有を通じて、**高等教育機関及び研究機関の能力向上**を目的（1992年創設）

高等教育機関の国際的な連携・協働を促進することにより、**人的・物的資源のシンクタンク**として、また**教育・研究機関、地域コミュニティ、政策立案者間の橋渡しの存在**としての役割を担うことを目指す

ユネスコチェア（UNESCO Chairs、ユネスコ講座）

○**合計：世界992講座**（2025年2月現在）

- ・チェアホルダー（責任者）、講師、研究者、学者から成る新たな教育・研究ユニットとして、大学または他の高等教育機関に設置
- ・4年ごとに更新
- ・大学の部局内に新たに設置、または既存のプログラムの拡充により設置が可能
- ・大学の学長とユネスコ事務局長の間での覚書署名により発効

★**我が国のユネスコチェア：11講座**（2025年2月現在）

ユニットイン（UNITWIN：University Twinning、大学間ネットワーク）

○**合計：世界44ネットワーク**（2025年2月現在）

- ・複数国に所在する複数の大学から成り、ネットワーク全体としてユネスコと協定締結
- ・4年ごとに更新
- ・複数のユネスコ講座によるユニットインの形成や、既存のネットワークがユニットインに発展することも可能

★**我が国のユニットイン：3ネットワーク**（2025年2月現在）



ユネスコが推進する分野でのアカデミックな実践とそのネットワークにユネスコの名前を冠することにより、国際社会における**日本の大学のレジリエンスの向上**と**更なる取組の活性化**へ

各ユネスコチェアの取組①

次世代の「文化遺産と危機管理」 専門家育成を目指したユネスコチェア

立命館大学歴史都市防災研究所
(2015年～)

自然や紛争などの脅威による災害から文化遺産や歴史都市を守るのみならず、「文化遺産と危機管理」をテーマとして、文化遺産を活かした災害に強いまちづくりに必要な知識や経験、技術と実践を学ぶ学生向け教育プログラムと、世界での継続的なネットワークを継承・発展させるための国際連携事業を実施。



関連リンク：<https://rdmuch.jp/en/project/unesco-chairs/>

持続可能な開発のための教育(ESD) と研究に関するユネスコチェア

岡山大学(2007年～)

持続可能な社会を創造するスキルを備えた人材を育成することを目的に、我が国と環太平洋地域、アフリカ発展途上国等の大学協定を基礎に、国連・国際機関とも連携してESDの理解と実施のためのシステムの構築を行う。



関連リンク：
<https://globalengagementoffice.okayama-u.ac.jp/unesco-chair/>

ユニツイン/ユネスコチェア30周年記念会議にパネリストとしてチェアホルダーが登壇(右から3番目)
(2022年11月 ユネスコパリ本部)

ジェンダー、脆弱性、ウェルビーイング を中心に据えた減災対策

神戸大学(2018年～)

神戸大学が中心となり、災害が頻繁におこるインドネシア、台湾、タイ、マレーシア、日本の大学や機関と連携し、ジェンダー・脆弱性・ウェルビーイングをキーワードに減災に関する共同研究、教育・訓練や幅広い情報提供を行う。参加大学内外のセミナー以外に毎年各参加機関の学生を対象にオンライン教育プログラムを開催する。



関連リンク：
<https://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/project/unesco/unesco-chairs.html>

水・エネルギー・災害研究に 関するユネスコチェア(WENDI)

京都大学 KYOTO UNIVERSITY
WENDI
京都大学(2018年～)

京都大学の多様な研究科・研究所等の専門家が結集し、水及びエネルギーさらにそれらに関わる災害、環境、生態系、食料などの問題を、気候変動やデータ科学を共通課題として学際的系統的に英語で学べるコースを大学院生に提供する。また、ユネスコIHPトレーニング(2週間の英語集中コース)を世界の関連研究者・実務者・学生に提供する。国内外のユネスコのジオパーク、エコパーク、世界遺産などを学習フィールドとして活用する。



関連する海外のユネスコチェアとウェビナーを開催して相互の情報共有と国際的な協力関係を築いている。

関連リンク：
<https://wendi.kyoto-u.ac.jp/>

関連リンク：
<https://resilience.uniud.it/resilience-catalysts>

各ユネスコチェアの取組②

地球環境災害軽減ユネスコチェア

島根大学(2018年～)

自然災害の多い東南・南アジアの国を中心とした大学・研究機関と連携、自然災害に関する基礎的研究から防災・減災にかかる共同研究を実施するとともに、留学生教育プログラムを運営している。留学生・日本人学生が協働して、災害に強い地域づくりにも貢献している。2024年度はネパール・トリブバン大学とジオパークの地質遺産の保護・持続的利用を目指した、ジオツーリズムに関する国際交流プログラムを実施した。

関連リンク：

<https://www.geo.shimane-u.ac.jp/unesco-chair/>



ジオパークを活用した交流プログラムでの野外巡検(2024年11月に実施)。

技学SDGインスティテュート

長岡技術科学大学(2018年～)

本学で培われてきた先駆的な工学教育(産学連携を基礎とした長期実務訓練や海外学術交流等)を更に進展させるもので、学長のリーダーシップの下、SDGs(国連の持続可能な開発目標)をエンジニア教育の根幹とすることで、更なる工学系高度化教育プログラムを達成し、大学間連携から世界に拡大していこうとするもの。

関連リンク：

https://www.nagaokaut.ac.jp/project/sgweb/unesco_gsi.html



<学生主体国際会議：第9回 STI-Gigaku2024>

グローバル時代の健康と教育



大阪大学(2018年～)

健康と教育の間には密接な関係がある。肉体的・精神的・社会的にVulnerableな子供たちは学業にも支障をきたしやすい傾向があるが、学校はそうした子供や若者を包摂し、健康促進や健康教育を実践できる理想的な場所である。阪大チェアはアジアを中心とする多彩なパートナーとの連携で、学校環境における健康促進・健康教育に関する研究基盤の拡大を目指す。特に第2期からは包括的性教育に重点を当てるとともに、AIなどの技術の進歩に対応した基盤づくりに取り組んでいる。

関連リンク：

<https://ou-unescochair-ghe.org/>
<https://mewproject-osaka-u.jp/>



包括的性教育の国際ワークショップ



阪大共創Day @EXPOCITY



ユネスコスクール加盟校訪問

平和、社会正義、グローバル市民のための教育におけるUNESCO Chair

九州大学(2021年～)



格差拡大と国際緊張が高まる現代社会で、アイデンティティとグローバル市民意識の形成を巡る教育の役割は再構築される必要がある。アジアを中心とするパートナーと連携し、日々進捗する科学技術と環境危機に対応する教育や、アイデンティティと市民意識を形成する教育、さらに社会的公正と持続可能性に着目した研究を展開している。

関連リンク：<https://www.ku-unescochair.com/>

各ユネスコチェアの取組③

生物圏保存地域を活用した持続可能な社会のための教育ユネスコチェア



横浜国立大学(2022年～)

本講座は、持続可能な社会の実現に向けて、生物圏保存地域における持続可能な開発のための教育に関する研究、研修、情報、資料の統合システムを推進するとともに、日本国内およびアジア・太平洋地域や世界の他の地域における、国際的に著名な研究者や教員による共同研究を促進する。

国連大学との連携例：2016年5月及び7月に国連大学でMAB計画関連行事が開催され、チェアホルダーの松田教授が講演を行った。

関連リンク：<https://ebross.ynu.ac.jp/ja/>



2016年1月23日
白山市
ユネスコジオパーク
設立記念シンポジウム



南米イグアズ滝
とイタイプ生物
圏保存地域での
海外研修

持続可能な開発のための世代間学習促進プログラム

金沢大学(2023年～)

複数のユネスコ認定地域をフィールドとして社会・経済・環境面で若者と年配者の世代間学習を促進し、相互に有益な価値観を創造することを目指す。特に、研究、教育、能力開発、普及の4つに焦点を当て、地域および国際的なパートナー機関とともに、より結束力の強い社会に向けた革新と伝統の融合を目指す。



祭りで地元の人々と撮影した集合写真

人間の尊厳、平和、サステナビリティのための教育に関するユネスコチェア

上智大学(2024年～)

海外5大学（ボストンカレッジ、ハベリアナ大学、アテネオ・デ・マニラ大学、国際イスラーム大学、エジプト日本科学技術大学）・3機関（国連大学、アジア太平洋国際理解教育センター、アジア欧州財団）と知のプラットフォームを形成し、「1974年ユネスコ教育勧告（改訂版）」に基づく比較国際教育の実践と研究を展開する。

関連リンク：
<https://sophia-unescochair.jp/>



ユネスコ1974年改訂勧告に関する
アジア太平洋地域政策対話会合へ参加
(2024年6月、バンコク)



国連大学とともに国連ハイレベル
政治フォーラムのパネルへ参加
(2024年7月、国連本部)

各ユニットの取組

斜面・地震及び水災害のリスク管理に関する研究・教育ネットワーク

京都大学(2003年～)

特定非営利活動法人国際斜面災害研究機構 (ICL) の参加機関である京都大学をはじめとする35カ国60機関が参加して「社会と環境に資する斜面・地震及び水関連災害のリスク管理に関するUNITWIN-UNESCO/KU/ICL 共同計画」を実施し、大学院レベルの人材育成、国際共同研究、国際ジャーナル Landslides (※Springerホームページヘルリンク) とオープンアクセスブックシリーズ Progress in Landslide Research and Technology (※Springerホームページヘルリンク) の発行、斜面災害世界フォーラム開催などを推進している。

関連リンク：

<https://www.landslides.org/ipl-info/ipl-unitwin-programme/>



教育開発のためのアフリカ・アジア大学間ネットワーク

広島大学(2016年～)

アフリカとアジアの大学間連携事業「教育開発のためのアフリカ・アジア大学間対話」を通じてアフリカ12カ国・16大学、日本を含むアジア8カ国・12大学と共同で教育の質向上、公正、教員能力強化などの教育開発のための国際共同研究を行い、研究成果をジャーナルに投稿するためのライターズ・ワークショップを継続的に開催。また教員・学生交流を行う。

関連リンク：

https://cice.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=3198



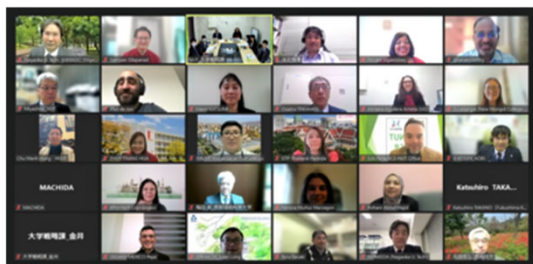
技学SDGネットワーク

長岡技術科学大学(2023年～)

長岡技術科学大学が培ってきた工学教育「技学」にSDGsの視点を導入し、この教育理念(4つのCredos)を共有する国内外の高等教育機関及び企業と技学SDGネットワークを構築する。持続可能な開発を促進するための科学・技術・イノベーションを強化し、工学系高度化教育プログラムを世界に拡大していく。

関連リンク：

https://www.nagaokaut.ac.jp/project/sqw/eb/unesco_gsi.html



<技学SDGネットワーク年次会合：
The 8th Panel on GIGAKU Education>

「ユネスコ研修プログラム」について

参考



文部科学省

背景・目的

- ◆2022～2029年の8か年のユネスコ中期戦略において、「ユース」が優先グループとして位置付け。
- ◆令和4年秋から、日本ユネスコ国内委員会において、ウクライナやアフガニスタン情勢、気候変動に伴う自然災害の深刻化、グローバル・サウスの台頭等を踏まえ、「国際情勢を踏まえたユネスコ活動等の推進」等について継続的に議論。
- ◆ユネスコ活動の活性化の一環として、日本の若者のユネスコ事務局（地域事務所を含む）での研修を推進するべく、ユネスコとの間で研修プログラムの創設に関する覚書に署名し、日本の若者がユネスコ事務局での勤務を経験することにより、ユネスコ活動に対する理解促進、国際機関職員をはじめとしたグローバルに活躍できる人材の育成、ユネスコ活動を活用した地域活性化等に貢献することを目指す。

令和5年
11月

文部科学省及びユネスコとの間で、ユネスコ活動を行っている団体等（大学、地方自治体等）に所属する学生・若手職員をユネスコに派遣する研修プログラムの創設に関する覚書に署名。

学生の派遣（令和6年度～）

- ①対象：ユニツイン／ユネスコチェアに認定されている大学からの推薦に基づく、大学院生
- ③派遣規模：年間最大14名程度（12大学、14か所から各1名）
- ②派遣期間：原則6か月以上（最長12か月）
- ④派遣先：ユネスコ本部、ユネスコ地域事務所
- ⑤経費支援：公益財団法人日本国際教育支援協会の協力の下、奨学金を支援可能

【第1期】4名：修了1名（ニューデリー事務所）、研修中3名（本部教育局ESD課、人文社会科学局スポーツ課、自然科学局防災課）

【第2期】4名：研修中3名（本部教育局健康教育課、自然科学局生態地球科学部MAB事務局、情報コミュニケーション局デジタルインクルージョン政策・DX課）、派遣準備中1名

【第3期】8名：派遣調整中

「ユニツイン／ユネスコチェア登録大学」

①立命館大学	C
②岡山大学	C
③神戸大学	C
④京都大学	T/C
⑤島根大学	C
⑥長岡技術科学大学	T/C
⑦大阪大学	C
⑧九州大学	C
⑨横浜国立大学	C
⑩広島大学	T
⑪金沢大学	C
⑫上智大学	C

※T:ユニツイン C:ユネスコチェア